

令和4年度 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和4年（2022年）6月6日（月）
午前10時から正午まで
- 2 開催場所 市役所本館302会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 北ブロック
連合自治会長5人
- 4 テーマ ポストコロナにおける地域活動について

5 市長あいさつ

お忙しいところ御参加いただきありがとうございます。日頃から市政に御協力をいただき、また新型コロナが発生して既に2年半にわたり、様々な制約の中で地域活動を支えていただいていることに御礼申し上げます。

新型コロナの発生状況は、昨日6月5日は約5か月ぶりに平塚市の感染者は0人でした。これまで累計で12,780人が感染され、残念ながら30人が亡くなっています。県内19市で比較しますと、人口当たりの感染者数では少ない方に位置している状況です。

平自連の皆様とは令和2年度にもお集まりいただき、コロナが地域に及ぼしている影響など率直な御意見をいただき、令和3年度と今年度の予算編成に当たり参考にさせていただきました。

まだまだ油断はできない状況ですが、徐々にコロナとの付き合い方も変わっていくと考えています。そこで地域活動についても再開に向けた動きを進めていただけますと大変ありがたいと考えています。今年度は活動再開に向けた地域活動再開円滑化交付金についても、対象を拡大しながら予算化しました。どのように市として地域づくりに協力させていただくことができるかなど、本日は率直な御意見をいただけますと大変ありがたいです、本日はよろしく願います。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず初めに自己紹介も兼ねて各地域の現状などをお聞かせください。

【参加者】

昨年、連合自治会長に就任して以降、ほとんど地域活動が中止になりましたが、地区レクに関してはどのように開催できるかを検討して、人数を制限しながらウォークラリー形式で実施しました。地域を歩くことで、地域を知ってもらうきっかけになってくれればいいと思い企画しました。今年の納涼祭についても、飲食のみ制限して、実施する方向で検討しています。秋の地区レクは、昨年より人数を増やして引き続きウォークラリー形式で行いたいと考えています。

【参加者】

当地区もこの2年間ほとんどの行事が中止となりました。今期役員として行事を経験している人は1人しかいません。今年度は開催することに意義があると考え、できる範囲で開催したいと考えています。

【参加者】

これまで3年間連合会役員を経験し、今年4月から連合会長に就任しましたが、役員として開催できたイベントは夏祭り1回のみです。連合会役員は、15単位自治会長など総勢43人いますが、定例役員会は書面で開催したり、人数を制限して開催したりしている状況です。昨年の地区レクでは、リレーで使用するバトンの代わりに長い風船を使用するなど、感染対策のために知恵を出し合い準備をしていました。残念ながら感染拡大のため中止になってしまいましたが、今年に活かせればと思っています。イベントの開催に当たって市からガイドラインを示してもらっていますので、夏祭りについては、例年2日間、アルコールを含めて模擬店を出して開催していましたが、今年は1日のみで模擬店もなしにして開催する予定です。

【参加者】

当地区でもほとんどの行事が中止となっています。自治会はイベント屋ではありませんので、日々のごみ清掃や交通安全活動などを大切にして、住民が安心して暮らせる地域にしていこうと各役員には伝えていました。この2年間、行事を中止にしたことは住民の安心安全を考えれば、適切であったと考えています。夏祭りは例年大きなやぐらを組んで、太鼓を演奏して盛大に実施していましたが、今年は盆踊りのみで開催しようと思っています。飲食をどうするか悩ましい問題ですが、来賓への接待も含めて禁止にしようと思っています。参加する人がいるのかと心配もありますが、今年を開催することに意義があると思っています。平自連の中でも、各地域で様々な考えや判断があるので、市のガイドラインが必要との意見がありました。

【参加者】

当地区でもほとんどの行事が中止となり、任期中に行事を経験しないまま退任した役員も大勢いました。今年開催に当たっては、前々任の役員に経験者として協力してもらいをお願いします。地区レクでは例年弁当を配布していますが、今年は弁当はなしにする予定です。参加者に楽しんでもらえるよう景品やお土産などを工夫したいと思っています。地区レクのガイドラインをみると、昨年より緩和されるもののまだまだ制限も多いと感じます。

【司会】

今年のイベント開催について意見交換をしていきたいと思っています。先ほどウォークラリー形式で地区レクを行った事例なども紹介していただきました。もう少し詳しく教えてください。

【参加者】

通常の地区レクでは十分な感染対策は難しいことから、当地区の平坦で田園地域である特性を生かし、運動の基本である「歩く」ことを主体にしようと

企画しました。密にならないよう5人1組でスタート時間や出発方向をずらしながら、神社などをチェックポイントにして、地域のスポットを知ってもらえるように工夫しました。人数については、昨年度は各団体5人までなど若干制限をしましたので、今年度は子どもたちなど多くの方に参加してもらえようようにしたいと思います。

【参加者】

従来の地区レクでは地区対抗の競技を中心に開催してきましたが、競技性が高いと参加者はヒートアップしてしまうため、コロナ禍では優劣をつける競技ではなく、遊戯的な種目にしようとの方針でした。人数制限については、どのように制限すべきか頭を悩ませていたところ、まん延防止等重点措置区域になってしまったため、中止になってしまいました。

【参加者】

今年度の地区レクは、5種目程度で午前中のみで開催にしようと思っています。例年700人近くの住民に参加していただいています。例年ほどの参加は見込めませんので、まず意向調査をして人数を把握しようと思っています。大まかの参加人数を把握して、市のガイドラインを参考に感染対策をしながら開催したいと考えています。

【参加者】

当地区でも例年ほどの参加が見込めないため、お土産を用意するなどして参加してもらいたいと思います。盆踊りだけでは人は集まらないので、模擬店なども出して、楽しんでもらえるようにしたいと思います。

【参加者】

当地区では人が来ないことは腹をくくって覚悟しています。開催趣旨やプログラムを周知して、来るか来ないかは住民それぞれの判断だから仕方ないと考えています。

【参加者】

盆踊りについては、コロナ以前は踊りの練習会を行っていましたが、今回は本番当日が継承のための練習会を兼ねるものだと考えています。今回の最重点課題は感染防止対策ですので、地域活動再開円滑化交付金をいただいて徹底させたいと考えています。飲食については、熱中症対策として紙パックのお茶の提供は検討しています。

【参加者】

当地区では模擬店は全てなしにする代わりに熱中症対策としてかき氷器と給水器を用意して提供しようと思っています。飲食スペースを設ける予定です。

【参加者】

各活動サークルの発表の機会がないという意見も多く上がっているため、地域の行事はできる限り開催したいと思っています。

【市長】

各会長には多くの御苦勞の中で地域を支えていただいていることに改めて御礼申し上げます。まず市主催のイベントについて御説明させていただきますと、七夕まつりは、露店はなしで竹飾り鑑賞を中心とした形で開催します。竹飾りの製作には特別な技能が必要ですが、3年連続で中止にしてしまうと技能継承が危ぶまれるとの御意見を多数いただいたことも、開催を決断した理由の一つです。また、感染対策を徹底する上で、飲食の露店は制限せざるを得ないと考えていたところ、露店商組合から物販のみの出店では難しいため、全ての出店を辞退する意向があったことから、竹飾り鑑賞を中心として開催することになりました。平塚にはおいしい飲食店がたくさんありますので、飲食はそちらをぜひ御利用いただきたいと思っています。現在、商工会議所が飲食店を紹介するためのウェブページを準備しています。また地区の竹飾りについても復活しますのでぜひ御協力をお願いしたいと思います。先ほどお話にもありましたが、人は来ないかもしれないけれど将来に繋げていくために、感染対策を徹底して、市制施行90周年・第70回と冠して開催したいと思っています。また花火大会も8月末に開催することを決定し、飲食等の制限については検討中です。また市主催イベントではありませんが、よさこいまつりも時期をずらして開催する予定と伺っています。

次に市から発出させていただいたガイドラインについては、他のブロックからも、制限が厳しすぎて地域行事が開催できないとの御意見をいただきました。地域活動を再開していただくことを前提に、主催者にこれだけは守っていただきたい内容としてお示ししたのですが、6月に入り行動制限緩和の流れが加速してきていますので、行事を開催するに当たっての留意事項や最低限の制限のみにするよう担当部に改訂を指示しています。

もし第7波が来てしまった場合には、再度制限をかけることもあるかもしれませんが、新型コロナワクチンの3回目接種も、対象者の約66%、65歳以上では約90%の方に接種を済ませていただいています。また4回目接種の対象者への接種券の送付も開始しました。今後飲み薬などが承認されると、コロナとの付き合い方も変わってくる状況になると思います。

地域の繋がりが強く、活動が活発であることが平塚の魅力の一つだと思いますので、どのように市が応援できるかについても市全体で検討していきたいと思っています。

【司会】

次に、役員の入替わりによる技能継承の課題、なり手不足などについて意

見交換していきたいと思います。

【参加者】

役員のおおくは2年に1度入れ替わりますので、行事では前任や前々任など経験者の協力が不可欠です。また地域柄なのか、生産組合が自治会役員の推薦に大きな役割を果たしてきましたが、生産組合からも時代が変わってきたので推薦方法の変更を検討してほしいとの要望があったため、今年度に変更を予定しています。

【参加者】

今年が2年任期の2年目ですが、去年は防災訓練も中止にしました。役員の中でも、これまで全く自治会行事に参加した経験がないという方もいます。また、なり手不足については会議を削減したり、行事の日程を短縮したり、役員の負担削減にも少しずつ取り組んでいます。

【参加者】

当連合会内に私を含めて専任役員が4名いますが、4年目の私が最も経験が長いです。前任者から資料はしっかり残してもらっていますが、行事の運営ノウハウは資料では引き継げません。またなり手不足について、単位自治会では副会長不在の自治会もあります。なんとか引き受けてくれても1年だけという方も多いです

【参加者】

当地区の役員は50～80歳代です。今は65歳でもフルタイムで働いている方も多く、引き受けてくれても1期2年だけという方が多いです。今期の改選では28人中再任は7人のみでした。

【参加者】

当地区も同じような状況です。70歳前後で仕事を辞めて自治会役員を数年務めると、そろそろ健康寿命が近づいてきてしまいます。昔は、地域で年齢順に会長職の打診があり、打診がないと怒る人もいましたが、今は打診がなくて良かったと思っている人もいます。本当は負担軽減のため役員数を増やしたいのですが、役員を1人見つけるだけで四苦八苦している状況ではとても難しいです。会長は特に負担が大きいので、他の役員にも分担してもらっています。

【司会】

役員の負担軽減などのお話がでましたが、ウェブ会議などデジタル化などは進んでいますか。

【参加者】

当地区ではほとんど進んでいません。コロナ対策としてはウェブ会議ではなく書面会議にしています。書面会議は会長の事務負担はとても大きいです。

他には会議の開催回数の削減を進めていますが、開催回数を少なくすると1回当たりの開催時間が延びてしまうことが悩ましい問題です。

【参加者】

当地区では事務連絡や情報共有などはグループLINEを活用していますが、ウェブ会議は開催していません。顔合わせの意味合いを含めて月1回は対面で開催するようにしています。

【参加者】

当地区でも月1回の定例会は対面で開催しています。情報共有のみLINEで行っており、ウェブ会議は実施していません。

【参加者】

当地区では第2土曜日19時から定例会を開催しています。デジタル化は連絡調整とともに、資料保管に活用しています。以前は会議資料を全て紙で保管しており膨大な量でしたが、パソコンに詳しい方にデータ化してもらいUSBメモリに格納してもらいました。1年かけてやろうと考えていましたが、詳しい方はあっという間にできるのでとても頼もしいです。行事の経験だけはデータ化できませんが、動画サイトでやぐらの組み方を各自見て勉強するなどしています。

【参加者】

当地区でも連絡調整、情報共有でグループLINEを活用していますが、月1回43人で定例会を開催している状況です。

【市長】

対面開催が難しい中で、書面開催やデジタルの活用など様々な工夫をしていただき、ありがとうございます。市としても、役員の負担軽減のためネットワーク環境の整備などデジタル化の推進に力を入れてきました。いよいよ活動を再開される時期になってきましたので、ぜひ御活用いただきたいと思います。市とNPOで行ったアンケート調査の結果では、「役員のなり手不足」や「若い人の参加が少ないこと」が改めて課題として浮き彫りになりました。若い人に地域に関心を持ってもらい、活動に参加してもらうためには、デジタル化は必要だと思っています。全地域で開設していただいています「ちいき情報局」を活用して、地域の魅力的な情報を若い世代へ知ってもらえるよう積極的に情報発信していただければと思っています。2年前に平自連の皆様とほっとミーティングを開催した際に、このままでは自治会不要論が出てきてしまうとの御意見もいただいたことから、自治会の意義や役割を知っていただくために昨年3月と今年の1月には広報ひらつかで自治会活動について特集を組みました。特に災害時には地域での助け合いがとても重要です。自治会の加入率が現在約70%ほどですが、自治会活動が平塚の元気を支えていただ

いていますので、持続可能なものとなるよう市としても応援していきたいと考えています。

【司会】

防災活動についてお話がありましたが、今回の北ブロックは相模川沿岸ですので特に水害など心配な点があると思いますが、どのように備えていただけますか。

【参加者】

当地区は平坦であるため一度浸水してしまうと、広範囲に広がってしまいます。昨年の防災訓練では自主防災組織の意義や役割について知識を深めてもらうことをメインに開催しました。

【参加者】

コロナ以前は全世帯を対象に開催していましたが、この2年は役員のみ絞って、避難者をどのように誘導するか訓練をしました。今年はコロナも落ち着いてきましたので、2部構成にして分散化させた上で、以前のように全世帯を対象にして開催したいと考えています。

【参加者】

当地区も昨年は役員のみ人数を絞って、起震車体験と消火訓練と図上訓練を行いました。またほとんどの行事が中止になったため、自治会予算に余裕があったので、防災資器材を更新しました。今年は医師会との合同訓練を検討中です

【参加者】

令和元年に2つの台風により被害を受けて以降、災害対策課に当地区の問題点を整理してもらうよう依頼した結果、自治会と自主防災組織がばらばらであった点など気付せてもらいました。風水害の季節が近づいてきましたので、先日も合同会議を開催しました。防災訓練は、この2年は避難誘導訓練を中心に行っています。住民の中には自分の避難所を知らない方もいますので、今年にはできる限り開催したいと考えています。

【参加者】

昨年度の防災訓練では、指定避難場所の小学校と中学校それぞれに災害対策課職員に来てもらい、ハザードマップの見方など教えてもらいました。相模川の堤防については整備が完了しており、大きな河川氾濫はないと思っていますので、地震への備えを中心に訓練をしたいと思っています。

【市長】

地域防災について御協力いただきありがとうございます。相模川の右岸についてはすでに整備が完了しています。左岸が一部未完了ですので、早期整備をお願いしています。ここ数年は内水氾濫が課題となっていますので、ハザー

ドマップを改訂し、全世帯に配布しました。また避難所におけるコロナ対策についてもしっかり予算を投じて充実させています。ぜひ訓練で体験していただきたいと思います。

7 市長によるまとめ

本日は様々な御意見と御要望、地域が抱える課題の提起をいただきありがとうございました。いただいた御意見等は各担当課にしっかり伝え、きちんと対応するように指示したいと思っています。

平塚というまち、人と人が支えあい、つながることで形成された素晴らしいまちであると考えています。その中心となって地域活動を支えてくださる皆様が動きやすく、持続可能な活動となるよう市としてしっかりと応援していかねばならないと考えています。いよいよウィズコロナの中で動き出していくための重要な年になると思っています。各自治会長におかれましては、引き続き多大なる御尽力を賜りますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

以 上